

日本文化を 世界に拓く



のぐち せつこ
野口 契子氏

プリンストン大学 東アジア図書館 日本研究司書
武蔵野女子大学日本文学科卒業(本学卒業生)

講師プロフィール

武蔵野女子大学日本文学科卒業。Simmons Women's College of the School of Library and Information Scienceで修士号取得。University of Illinois Urbana-Champaign, CIG (Big Ten Academic Alliance) にて日本研究司書として勤務。現職はプリンストン大学東アジア図書館日本研究司書。

主催：武蔵野大学後援会 / 武蔵野大学仏教文化研究所
共催：武蔵野大学同窓会 むらさき会 / 武蔵野大学文学部
日本文学文化学科 / 武蔵野大学図書館

— アメリカの大学図書館から —

北米における日本研究には図書館及び図書館司書が大きな役割を果たしています。様々な分野、媒体にわたっての支援や情報発信、協力がどのように貢献しているかをお話します。

武蔵野大学仏教文化研究所 シンポジウム(特別公開講座)

過去の知を未来へ — 新時代の図書館 —

過去から受け継がれてきた知の財産を、私たちはどのように未来へ手渡していくことができるのでしょうか。図書館は、資料を保存するだけでなく、知を整理し、活用し、新たな知と結び付ける役割を担っています。本シンポジウムでは、DX-AI時代に、多様な視点から、知をつなぎ、未来へ伝えていく図書館の可能性について考えます。



のぐち せつこ
野口 契子氏

プリンストン大学 東アジア図書館 日本研究司書
武蔵野女子大学日本文学科卒業(本学卒業生)

百学連環 — 知を繋ぐということ —



いのせ まさき
一ノ瀬 正樹氏

武蔵野大学教授 / 武蔵野大学図書館長 / 東京大学名誉教授

「過去の知」と「図書館のディレンマ」 — 哲学の視点から —



しもだ まさひろ
下田 正弘氏

武蔵野大学教授 / 武蔵野大学仏教文化研究所長 / 東京大学名誉教授

DX-AI時代における 文化の保存と継承

主催：武蔵野大学仏教文化研究所 後援：武蔵野大学図書館

令和8年 **11月1日(日)**

聴講無料
申込不要

- ① 教養講座：13:30～15:00(開場 13:00)
- ② シンポジウム：15:30～17:00(開場 15:15)

会場 **武蔵野キャンパス 6号館(雪頂講堂)** 定員500名

※公共交通機関でご来場ください。 ※お席には充分余裕がございますが、定員に達した場合、ご入場をお断りする場合がございます。
※①教養講座は後日、オンデマンド配信いたします。

お問合せ

① 教養講座

kouenkai@musashino-u.ac.jp
TEL.042-468-8298

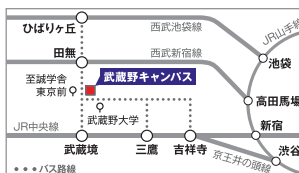
② シンポジウム

bukken@musashino-u.ac.jp
TEL.042-468-3145

武蔵野キャンパス 6号館(雪頂講堂)

「三鷹・武蔵境駅」からバス約10分
「吉祥寺駅」からバス約15分
「武蔵野大学」下車

「ひばりヶ丘駅」からバス約20分
「田無駅」からバス約5分
「至誠学園東京前」下車徒歩5分



世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University E.F.
学校法人 **武蔵野大学**